



京都シルク株式会社御中

「絹羽二重 珠の肌パフ」が肌の状態に及ぼす影響に
関する有用性調査報告書

監修

大手町パーククリニック

院長 医師 鈴木 茂

2008年4月15日

目次

◆ 有用性調査結果概要	1
◆ 有用性調査実施概要	2
◆ 試験方法	3
◆ モニター概況	4
◆ 測定結果		
— 測定データ一覧	5
— 結果概況(図)	6
— 各項目結果詳細	8
◆ 考察	12
◆ 参考資料	13

有用性調査結果概要

大手町パーククリニックにおいて行った本有用性調査について、以下のとおり報告いたします。

◆本調査は、京都シルク株式会社が製造販売する「絹羽二重 珠の肌パフ」が肌のきめなど肌の状態に及ぼす影響に関する有用性を評価するために行ったものである。

◆本報告書には、全測定項目のうち、次の4項目（目立つ毛穴数、きめ、明るさ、水分値）についてデータを抽出、分析した結果を記載した。

◆各検査結果については、推計学的処理を行い、Wilcoxon matched-pairs signed rank test (Wilcoxonの符号順位検定)を用いて有効性の判定を行った。

◆本対象製品を約2週間使用した結果、モニター群のうち2名が4項目すべてにおいて改善方向に数値が変化しており、モニターの60%が3項目以上で数値の改善が見られるという素晴らしい結果であった。また、幅広い年代層、様々なお肌の初期状態といったモニター群であったにもかかわらず、9例において、すくなくとも1項目以上は数値が改善しているという素晴らしい結果であった。

◆本調査においては、水分値の改善に対する効果が総合的にもっとも高く、推計学的にも有意な変化であった。

◆今回の調査からは、本製品の使用によって効果が現れやすいタイプを詳細に分類することはできなかったが、30代付近で普段あまりお肌のお手入れに時間をかけていない女性（肌の初期状態があまり良くない女性）に対して効果が現れやすい可能性が示唆された。

◆今回の調査結果とモニターの使用感を合わせて考えると、本製品は、様々な異なる年代層や様々な肌状態の幅広い購入者に対して、個人の主観（使用感）だけでなく、実際に、総合的に肌状態の改善に有効な製品であると考えられる。

有用性調査実施概要

試験期間

・調査は、2008年 3月15日(土)～ 2008年 3月29日(土)の約2週間に対して行った。
被験者(モニター)は、試験開始時より、指示された使用方法に準じて、指示された期間内、使用を継続し、使用開始以前と、使用開始2週間後に各種検査を行った。

モニターの選定

・モニターは、製品のターゲット顧客層を考慮し、25歳～55歳で、かつ、肌質が「普通肌」の方 かつ、普段のお手入れに時間をかけられない方を対象として、10名を選定した。
※選定時の除外基準については、次項をご参照ください。

試験実施機関

・本調査は、以下の試験機関において指導・実施された。
「大手町パーククリニック」
東京都千代田区内神田1-5-13内神田TKビル1階

測定項目

・対象製品の効果をあらゆる側面から測定しておくために、以下に示す4項目以外にも、肌状態について、しみ、しわ、油分なども含め合計48項目についてすべて測定を行った。

・今回測定された全項目のうち、以下の4項目についてデータを抽出し、分析を行った。

1. きめ
2. 目立つ毛穴数
3. 明るさ(くすみ)
4. 水分値

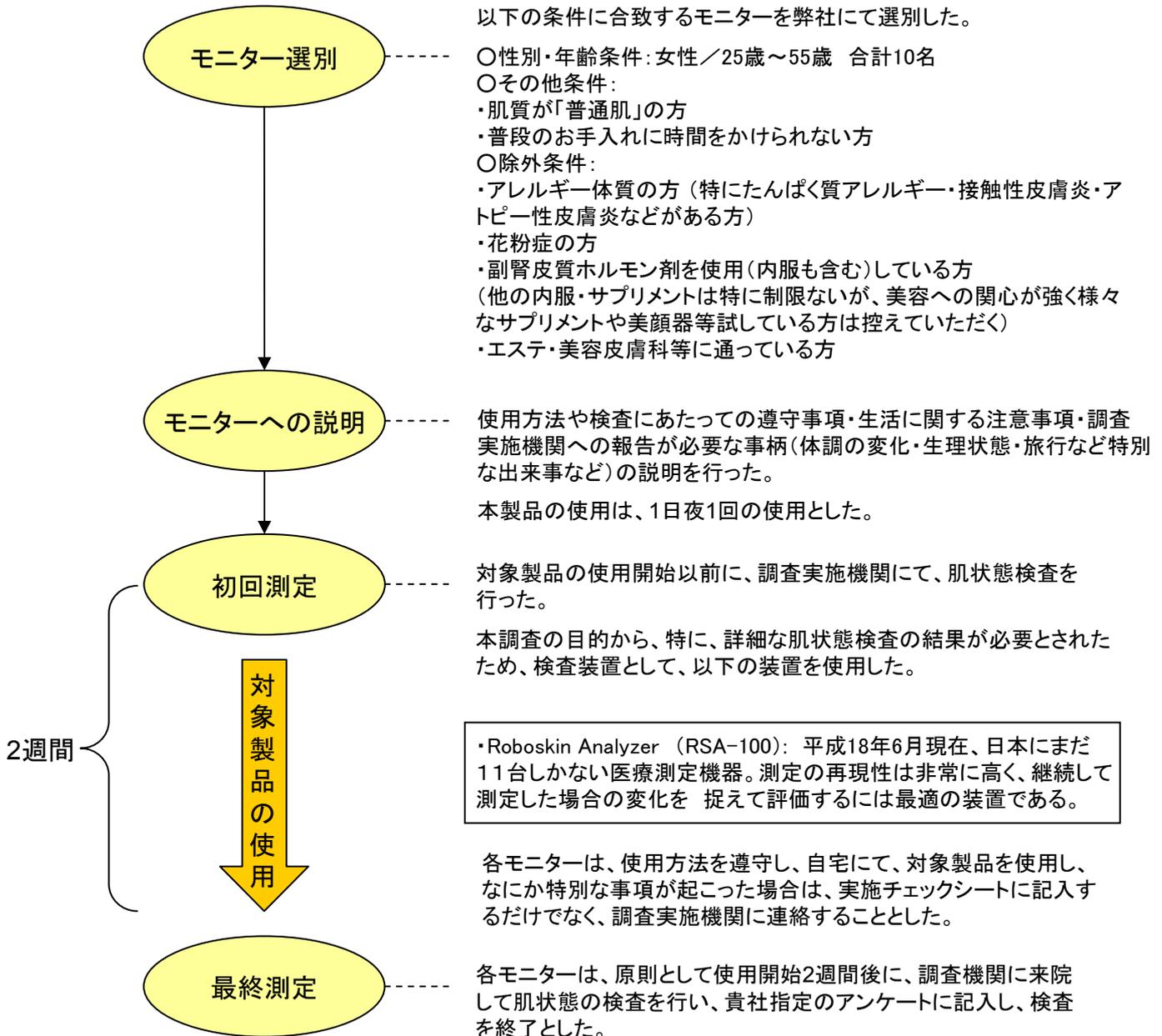
※試験の流れと測定装置については3頁をご参照ください。

分析方法

・上記4項目の有効性の判定には、Wilcoxon matcher-pairs signed rank testを用いた。

試験方法

◆ 有用性調査の流れ



モニター概況

◆ モニター情報一覧

今回の調査は以下のようなモニターに対して行った。

No.	モニターID	性別	年齢(歳)	特記事項
1	10157	女性	49	睡眠不足気味
2	10464	女性	38	生理期間含む(初回測定時生理中)
3	10457	女性	54	
4	10480	女性	25	生理期間含む(最終測定時生理中)
5	10481	女性	43	期間内発熱あり(急性胃炎)・生理期間含む(最終測定時生理中)
6	10381	女性	29	
7	10069	女性	35	頭痛気味(期間内頭痛薬・胃薬服用あり)
8	10185	女性	32	生理期間含む
9	10283	女性	34	生理期間含む(最終測定時生理中)
10	10065	女性	45	生理期間含む(最終測定時生理中)

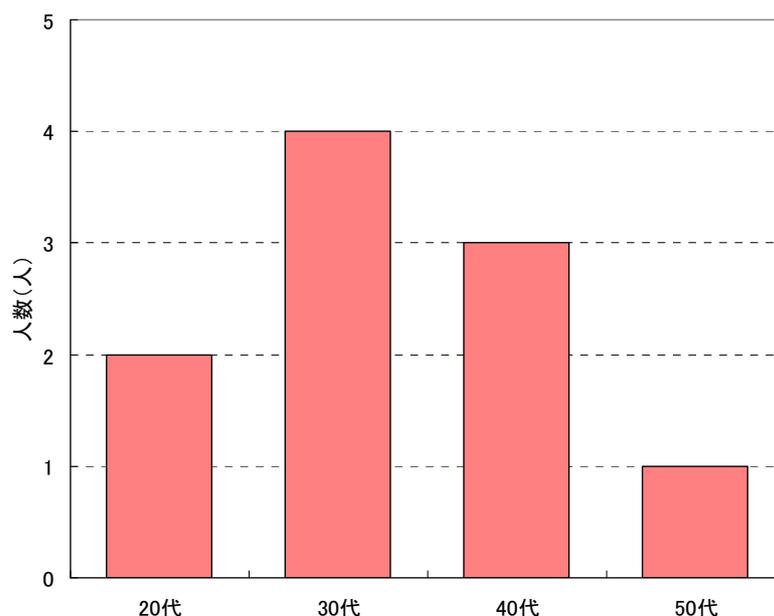


図) モニター年代分布

測定結果

◆ 測定データ一覧

今回測定された開始前と終了時の全データ、ならびにその増減値等を示す。

ID	性別	年齢	目立つ毛穴数			きめ*4			明るさ(くすみ)*5			水分値*6		
			開始前	終了時	開始前-終了時	開始前	終了時	開始前-終了時	開始前	終了時	開始前-終了時	開始前	終了時	開始前-終了時
10157	女性	49	3658	3756	-98	44	26	18	68.4	66.9	1.5	64	72	-8
10464	女性	38	2069	2003	66	10	23	-13	68.7	68.6	0.1	61	79	-18
10457	女性	54	473	1146	-673	39	29	10	64.2	64.2	0.0	61	60	1
10480	女性	25	1206	1174	32	42	35	7	68.6	69.1	-0.5	58	60	-2
10481	女性	43	1829	2124	-295	32	35	-3	67.1	67.5	-0.4	68	62	6
10381	女性	29	745	568	177	31	52	-21	70.4	70.2	0.2	63	71	-8
10069	女性	35	1847	1789	58	33	48	-15	68.5	68.7	-0.2	61	70	-9
10185	女性	32	1548	1560	-12	33	51	-18	70.0	70.5	-0.5	65	70	-5
10283	女性	34	1808	1522	286	43	72	-29	68.2	69.2	-1.0	67	76	-9
10065	女性	45	2625	2960	-335	20	35	-15	69.7	69.6	0.1	62	71	-9
(開始前-終了時)平均*1			-79.4			-7.9			-0.07			-6.1		
改善率(%)*2			-4.5			-24.2			-0.1			-9.7		
改善者の割合(%)*3			50			70			50			80		
Wilcoxonの符号順位検定			NS			NS			NS			P<0.05		

*1開始前-終了時=増減量の単純平均値

*2改善率=各項目の増減量の単純平均値/各初期値の平均値の絶対値

*3改善者の割合=改善傾向を示したモニターの数/全モニターの数

*4きめ: 数値がたかいほどきめが細かい状態

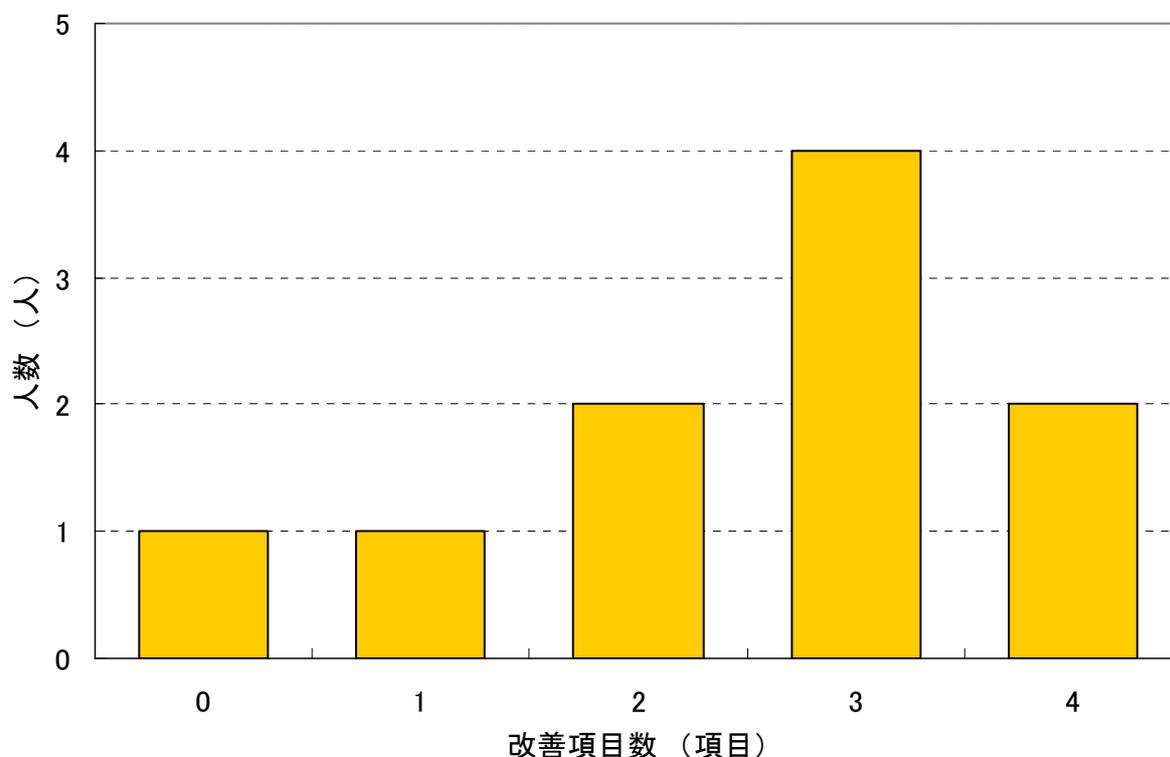
*5明るさ(くすみ): 数値が高いほど明るい肌状態

*6水分値: 数値が高いほど水分量が多い状態

◆ 結果概況図-1:改善項目数について

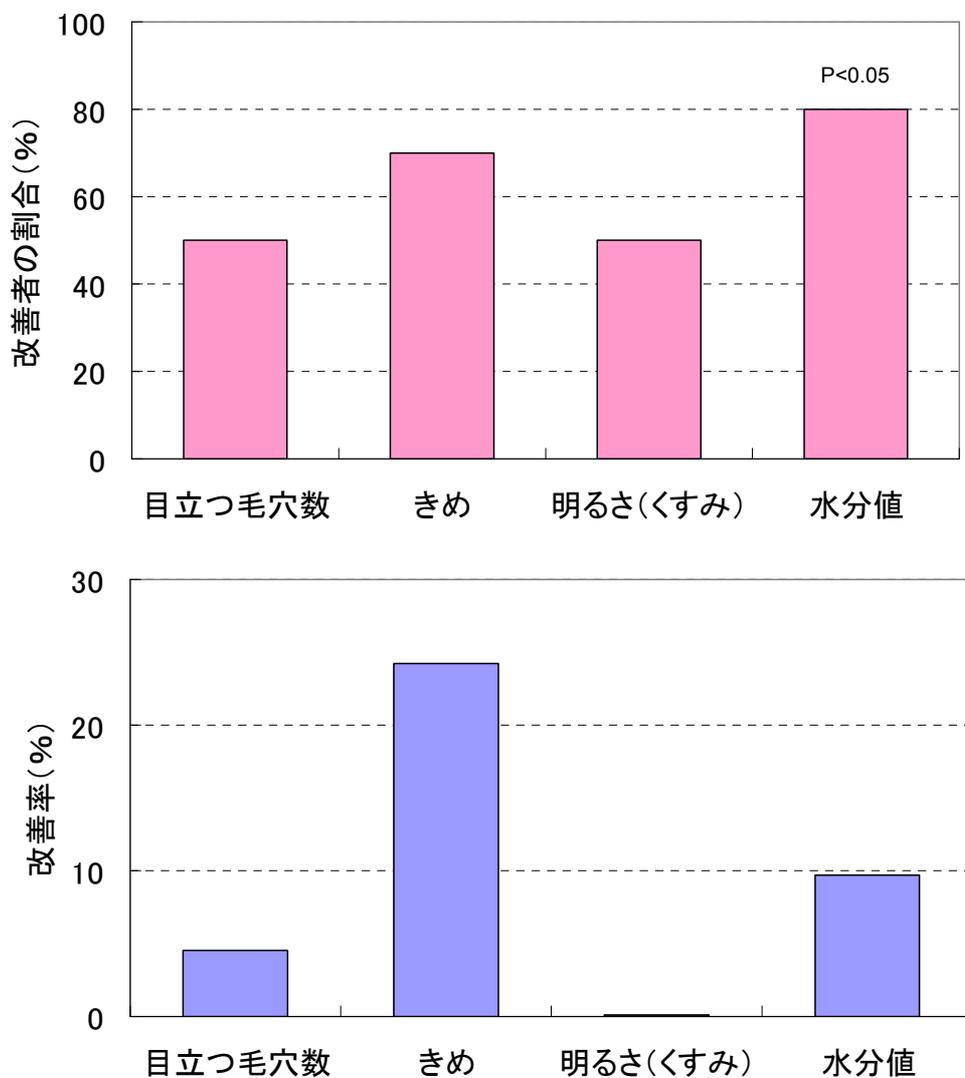
各モニターが、本報告書で報告する4項目のうち、何項目改善したのかについて集計を行ったものを以下に示す。

改善項目数 (項目)	0	1	2	3	4
人数 (人)	1	1	2	4	2



総括コメント: 本対象製品を2週間使用した結果、数値データにおいて今回選定した4項目中3項目以上の改善がみられた方が60%もおられるというすばらしい結果であった。一方、今回選定した4項目においては全く数値的な改善がみられなかった方が1名 (ID:10457)いらしたが、ご年齢が比較的高く、本モニター中最高齢であったことも要因のひとつではないかと考えられる。しかしながら、ご本人の使用感については、きめや化粧水の浸透に変化を感じておられ、また本製品の継続した使用を希望されていたことから、製品としては十分な成果をあげていると考えられる。また、10名中5名が、調査期間内に肌状態が乱れやすい生理であり、かつ、そのうち4名が最終測定時に生理中であったことを考慮すると、このような状態においても上述のような成果をだせたことは、非常に素晴らしい結果であると考えられる。

◆ 結果概況図-2:改善者の割合と改善率



総括コメント:比較的幅広い年齢層を対象としたにもかかわらず、今回の4項目すべてにおいて半数以上の方に改善がみられており、特に水分値においては、80%の方に有意な改善をもたらすという素晴らしい結果であった。改善率では、明るさに関しては、あまり大きな数値変化はみられなかったものの、きめの数値の改善率は30%以上と非常に高く、また、水分値も10%程度の数値改善を示しており、使用感だけでなく、実際に明らかな肌状態の変化をもたらしていることが示唆された。

また、個人の使用感についての結果をみると、本製品の満足度は非常に高く、8名(80%)が大変満足・満足のいずれかに回答しており、また、今後もこの商品を使用したいかどうかの質問に対し、「思わない」という回答は0(0%)であったことを考えると、実際に数値としても改善が現れている項目はもちろんのこと、使用感や使用方法の簡便さや素材感、価格帯などもあいまって、非常に使用効果が高いと感じさせる製品になっていることが示唆される。

※個人のアンケートに関しては、参考資料をご参照ください。

◆ 各項目結果詳細

○ 目立つ毛穴数の変化について

目立つ毛穴数に関する測定結果(詳細)を以下に示す。

	モニターID	性別	年齢	目立つ毛穴数			
				開始前	終了時	開始前-終了時	改善率(%)
1	10157	女性	49	3658	3756	-98.0	-2.7
2	10464	女性	38	2069	2003	66.0	3.2
3	10457	女性	54	473	1146	-673.0	-142.3
4	10480	女性	25	1206	1174	32.0	2.7
5	10481	女性	43	1829	2124	-295.0	-16.1
6	10381	女性	29	745	568	177.0	23.8
7	10069	女性	35	1847	1789	58.0	3.1
8	10185	女性	32	1548	1560	-12.0	-0.8
9	10283	女性	34	1808	1522	286.0	15.8
10	10065	女性	45	2625	2960	-335.0	-12.8
平均				1781	1860	-79.4	-12.6
標準偏差				912.6	928.2	283.0	47.1
Wilcoxonの符号順位検定				NS			

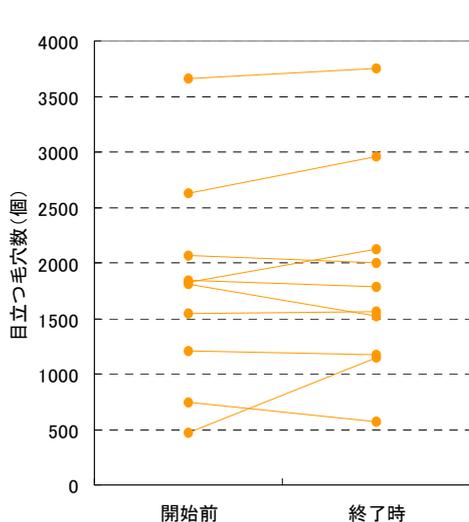


図) 経時変化

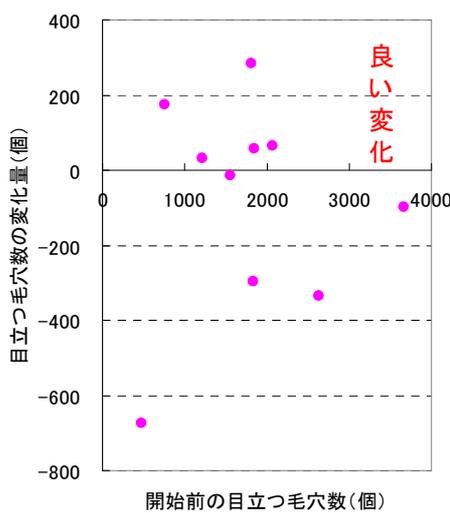


図) 初期状態と改善状態の関係

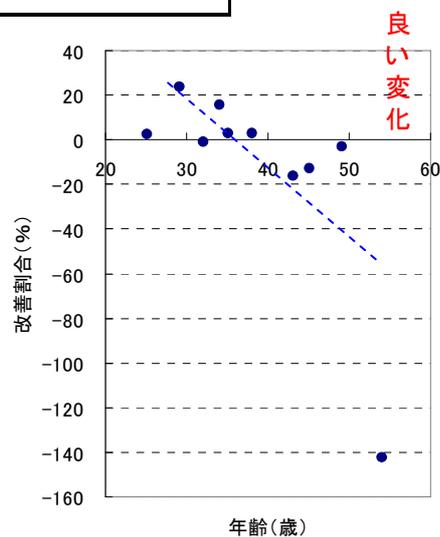


図) 年齢と改善率の関係

コメント: 今回のモニター群においては、目立つ毛穴数の有意な低下はみられなかったが、15%以上の数値改善をみたモニター2名を含む素晴らしい結果であった。初期状態と変化量の間には、あまり傾向はみられなかったものの、年齢と改善割合においては、若干ながら年齢が高くなるほど改善割合が低下する傾向がみられ、40代以前においては、目立つ毛穴数も十分に減少しうる可能性が考えられる。

○ きめの変化について

きめに関する測定結果(詳細)を以下に示す。

	モニターID	性別	年齢	きめ			
				開始前	終了時	開始前-終了時	改善率(%)
1	10157	女性	49	44	26	18.0	-40.9
2	10464	女性	38	10	23	-13.0	130.0
3	10457	女性	54	39	29	10.0	-25.6
4	10480	女性	25	42	35	7.0	-16.7
5	10481	女性	43	32	35	-3.0	9.4
6	10381	女性	29	31	52	-21.0	67.7
7	10069	女性	35	33	48	-15.0	45.5
8	10185	女性	32	33	51	-18.0	54.5
9	10283	女性	34	43	72	-29.0	67.4
10	10065	女性	45	20	35	-15.0	75.0
平均				33	41	-7.9	36.6
標準偏差				10.8	15.0	15.2	53.7
Wilcoxonの符号順位検定				NS			

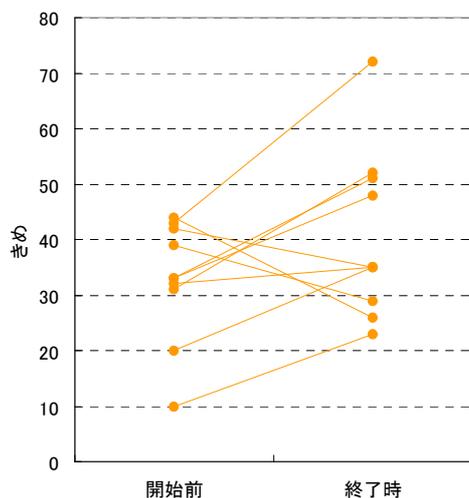


図) 経時変化

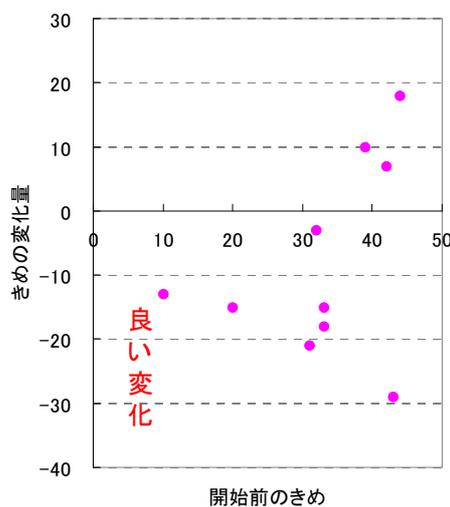


図) 初期状態と改善状態の関係

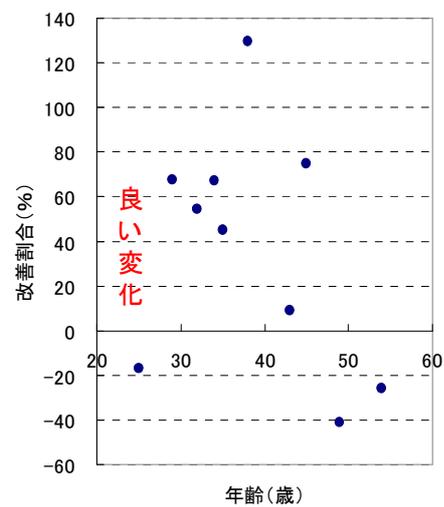


図) 年齢と改善率の関係

コメント: 今回のモニター群においては、推計学的に有意な変化は認められなかったが、モニターのうち7名(70%)が数値の改善をみせており、うち6名は改善率50%以上という素晴らしい結果であった。開始前のきめの状態が30程度以下(比較的悪い値)に関しては、いずれにおいても改善をみせていた。年齢が高くなるほど、きめの改善割合は低下している傾向がみられ、30代で普段あまりお手入れに時間をかけておらず、肌のきめが整っていない方は、本製品の使用で非常に効果をあげる可能性が示唆された。

○ 明るさ(くすみ)の変化について

明るさに関する測定結果(詳細)を以下に示す。

	モニターID	性別	年齢	明るさ(くすみ)			
				開始前	終了時	開始前-終了時	改善率(%)
1	10157	女性	49	68.4	66.9	1.5	-2.2
2	10464	女性	38	68.7	68.6	0.1	-0.1
3	10457	女性	54	64.2	64.2	0.0	0.0
4	10480	女性	25	68.6	69.1	-0.5	0.7
5	10481	女性	43	67.1	67.5	-0.4	0.6
6	10381	女性	29	70.4	70.2	0.2	-0.3
7	10069	女性	35	68.5	68.7	-0.2	0.3
8	10185	女性	32	70	70.5	-0.5	0.7
9	10283	女性	34	68.2	69.2	-1.0	1.5
10	10065	女性	45	69.7	69.6	0.1	-0.1
平均				68	68	-0.1	0.1
標準偏差				1.8	1.9	0.7	1.0
Wilcoxonの符号順位検定				NS			

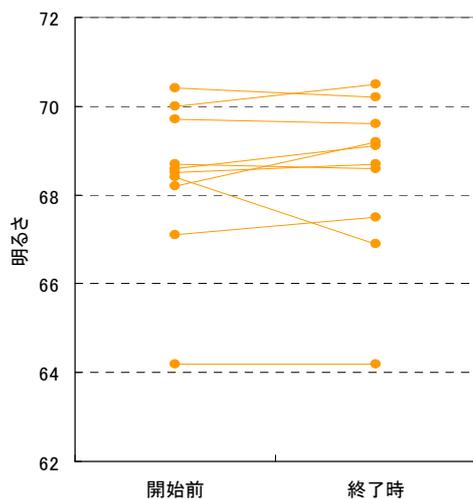


図) 経時変化

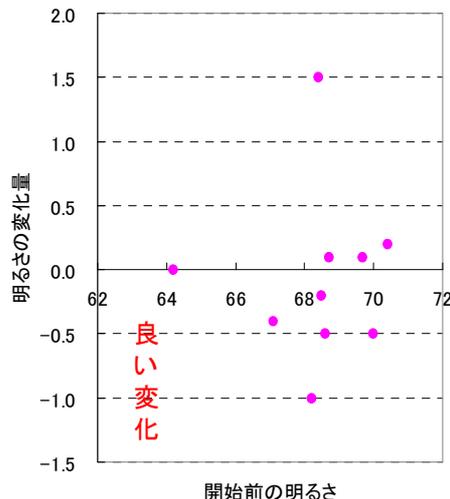


図) 初期状態と改善状態の関係

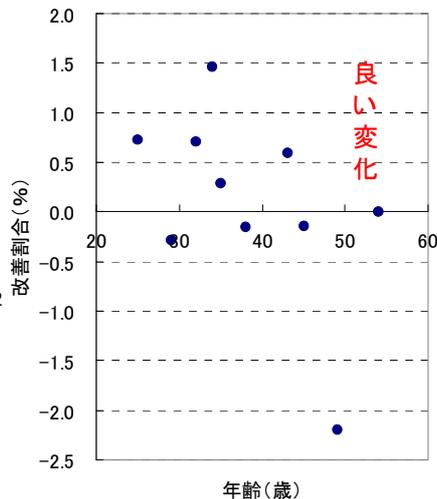


図) 年齢と改善率の関係

コメント: 明るさに関しては、今回分析の対象とした4項目のうち、本モニター群に対しては、もっとも数値として結果が現れにくい項目となっており、推計学的にも有意な変化は認め得なかった。しかしながら、モニターの使用感としては、明るさに改善ありと回答した方が2名、多少あると回答した方が6名と計80%を占め、ほとんどないと回答した2名と比して、明らかに高い割合を示していた。したがって、今回分析項目の対象ではなかったが、明るさではなく彩やかさにおいて変化があらわれていた可能性も考えられる。

○ 水分値の変化について

水分値に関する測定結果(詳細)を以下に示す。

	モニターID	性別	年齢	水分値			
				開始前	終了時	開始前-終了時	改善率(%)
1	10157	女性	49	64	72	-8.0	12.5
2	10464	女性	38	61	79	-18.0	29.5
3	10457	女性	54	61	60	1.0	-1.6
4	10480	女性	25	58	60	-2.0	3.4
5	10481	女性	43	68	62	6.0	-8.8
6	10381	女性	29	63	71	-8.0	12.7
7	10069	女性	35	61	70	-9.0	14.8
8	10185	女性	32	65	70	-5.0	7.7
9	10283	女性	34	67	76	-9.0	13.4
10	10065	女性	45	62	71	-9.0	14.5
平均				63	69	-6.1	9.8
標準偏差				3.1	6.5	6.6	10.5
Wilcoxonの符号順位検定				P<0.05			

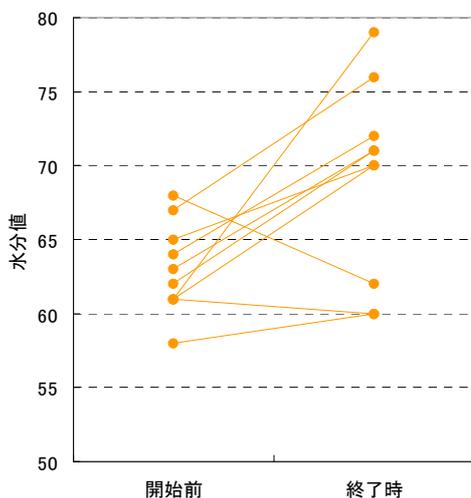


図) 経時変化

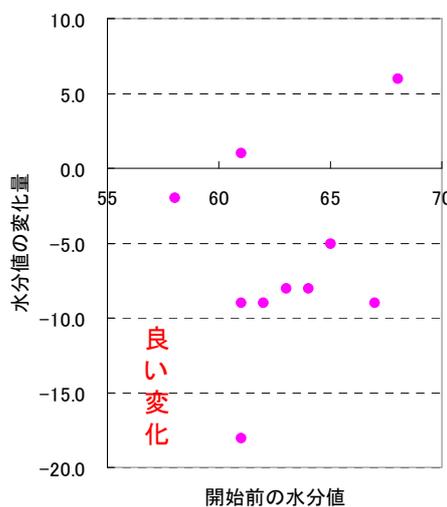


図) 初期状態と改善状態の関係

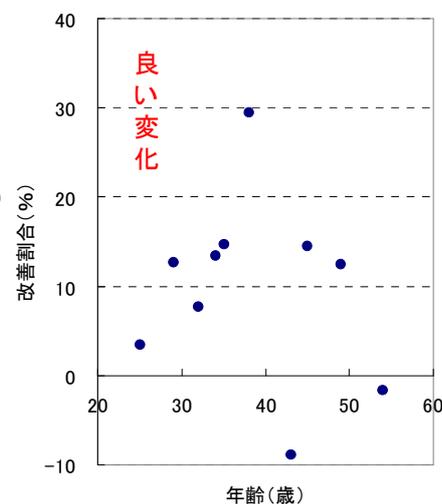


図) 年齢と改善率の関係

コメント: 今回のモニター群においては、水分値の数値改善は80%の方にみられており、かつその変化は推計学的にも有意であった。また、使用感においても、2名が肌の潤いに改善があると回答し、7名が多少あると回答し、合計9名(90%)が改善を実感しているという素晴らしい結果であった。また、初期状態や年齢による改善傾向に明らかな傾向は見られなかったことから、本製品は、いかなる年代や肌状態であっても、肌の保水力の改善に非常に有効であることが示唆された。

考 察

本有用性調査の結果、対象製品「絹羽二重 珠の肌パフ」は、約2週間という短期間の使用においても、幅広い年齢層に対して、水分値やきめをはじめとした様々な肌状態を良好な状態へ改善することができる製品であることが示唆された。

今回の結果を総合すると、今回調査対象であったいずれの年代においても、様々な改善効果は実感されているが、本製品は、特に30代で普段あまりお肌のお手入れに時間をかけていない女性(肌の初期状態があまり良くない女性)に対して、効果を発揮しやすい可能性が示唆された。

今回の分析対象ではなかったが、彩やかさについて変化があらわれている可能性が示唆された。また、アンケートからは、しわの数の減少に関するコメントもあり、しわ数に関しても変化している可能性が示された。

したがって、さらに項目数をひろげた追加分析を行い、数値で実証できるその他の効果についても検討してみることをお勧めいたします。

また、一部、調査期間の終盤において、連続使用によって、顔のつっぱりや皮むけ、肌が赤みがかかった気がする、ひりひりする感じがするといったコメントもあり、初期の肌状態や肌タイプ別の使用方法について検討するために、モニター群の構成を変えた追加調査を行ってみることもお勧めいたします。

以上

添付資料目録

- 使用者アンケート(10名分)

以上



本調査に関するお問い合わせは・・・

(株)メディカルインテリジェンス 営業部 大塚宛

〒101-0047

東京都千代田区内神田1-5-13内神田TKビル1F

電話 03-5283-8900

FAX 03-5283-8622

E-mail: otsuka@m-intelligence.jp